

## 平成 27 年度第 3 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 28 年 2 月 25 日（木） 午後 1 時 30 分から
2. 場 所 熊野市文化交流センター 多目的ホール
3. 出席者 熊野市長 河上敢二  
熊野市教育委員会  
倉本教育長 大久保委員、小山委員、糸川委員、高見委員
4. 事務局関係  
教育委員会事務局  
林総務課長、山本学校教育課長、橋詰社会教育課長  
吉井総務課長補佐、太田総務課庶務係長  
市長公室  
庵前市長公室長  
総務課  
清嶺地総務課長
5. 事 項  
(1) 教育大綱に基づく施策別取組状況について

林総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 27 年度第 3 回熊野市総合教育会議を開催いたします。お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。

本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局総務課長の林でございます。よろしく願いいたします。

まず、最初に総合教育会議開会に当たりまして、河上市長から開会のご挨拶をお願いいたします。

河上市長 一言ご挨拶を申し上げます。お忙しい中、第 3 回目の総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当市における教育行政の推進に対し、格別なご尽力をいただいておりますことに、心から深く感謝を申し上げたいと存じます。

既にご案内のとおりでございますが、今年度から法律に基づいてこの総合教育会議が設置をされたところでございます。過去、第 1 回、第 2 回では当市の教育課題を踏まえた、今後の教育や文化振興の在り方を探っていただくために、いろいろな議論を行っていただき「熊野市教育大綱」を策定させていただいたところでございます。

3回目におきましては、この教育大綱に基づく各施策の取組状況をご確認いただくとともに、今後更に効果的な取組に向けて、課題等について検証していただきたいと思っております。忌憚のないご意見を賜りますように心からお願い申し上げます。

来年度の予算におきまして、学校関係で申し上げますと、子ども達の給食費用について、実質的に100円給食を実現させていただくことになりました。今、1食に大体250円から260円程かかっていますが、その150円から160円程度を市の方で助成させていただくというものでございます。それから、子ども達の通学に対する支援も充実させていただいて、原則無料になるということでございます。それから、子ども達が学校以外で相談できる、勉強もそうですし、いじめなどの問題について相談していただけるような相談員の設置も来年度予定をさせていただきます。また、奨学金を受けて大学等を卒業された方について、熊野市に戻ってきて就職をしていただいた場合、その期間に応じて奨学金の返済を免除するというようなことも来年度予定しているところでございます。地方創生の一環としての取組でございますが、その他教育に関しましてはいろいろな取組を予定しているところでございます。

いずれにしても行政の立場から申し上げますと、教育環境のより一層の充実に向けて更に取組を進めていきたいと思っております。

どうかよろしくお願いを申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

林総務課長

ありがとうございました。

それでは、お手元に配布の資料の確認をさせていただきたいと思っております。

本日の事項書1枚、教育大綱に基づく施策別取組状況が1部、熊野市教育大綱が1部となっております。

事項書3の経過報告に入らせていただきます。

平成27年4月16日に第1回総合教育会議が開催されました。内容としましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づいた総合教育会議設置の趣旨及びその内容、年間予定等について協議をいたしました。平成27年5月26日開催の第2回総合教育会議においては、熊野市の教育の目指すべき姿とその実現に向けた方向性を示す「熊野市教育大綱」が策定されました。大綱の内容としましては、大きく6つの柱からなっており、1. 学校教育（幼稚園教育）、2. 学校教育（義務教育）、3. 青少年健全育成、4. 生涯学

習、5.生涯スポーツ、6.文化芸術で構成されています。

この教育大綱の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間となっております。以上が3の経過報告と教育大綱の概要となっております。

続きまして、4の事項に入らせていただきます。(1)教育大綱に基づく施策別取組状況についてですが、お手元の資料をご覧くださいと思います。1月31日現在の取組状況についてですが、熊野市教育大綱に示されている6つの施策、それぞれの施策の取組状況を報告させていただき、効果がどうであったのか、課題はどのようなのか、また今後どのような取組に繋げていくのかを、協議、議論をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、教育大綱に基づく施策別取組状況の1ページをご覧ください。教育大綱に基づく6つの施策とその内容です。

2ページについて

学校教育(幼稚園教育)の主な取組内容、効果課題について説明。

これらの取組内容や効果と課題、今後の取組等についてご意見やご提言等ございましたらよろしくお願いいたします。

倉本教育長

木本幼稚園は次年度入園予定者が10名でございます。例年10名程度、それ以下の人数で推移しております。

現在、木本小学校の同一敷地内ということで、小学校との連携は非常にスムーズにしております。また、木本高校や紀南高校の生徒をインターシップ等で受け入れています。社会性を育てるという視点では、非常に位置的にも環境にも恵まれていると思います。

ただ、園の運営としましては、法の改正に伴ってどのような運用をしていくかは、関係各課との協議をもっと詰めていかなければならないと思います。

林総務課長

他に何か意見はございますか。

河上市長

参考までにですが、来年度、3歳以上の保育園児の保育料を無料にする取り組みを予定しております。木本幼稚園に通う園児も3歳以上ですので、同じように保育料を免除という形になりますが、無料になります。

林総務課長

市長から、来年度以降の保育料の免除についてお話がありましたが、それぞれに取組や効果、課題等を示させていただいておりますが、その他ご意見、ご提言等がありましたらお願いいたします。

河上市長

私が進行役ではありませんが、とりあえず項目ごとにご意見をいただきますが、後でさかのぼって気がついたらご意見をいただいても結構かと思っておりますので、とりあえず次に進めていただきたいと思います。

- 林総務課長           それでは、次に移らせていただきます。  
3 ページから 5 ページについて  
学校教育（義務教育）の主な取組内容、効果課題について説明。  
これらの取組内容や効果と課題、今後の取組等についてご意見等  
ございましたらよろしくお願いたします。
- 糸川委員            糸川です、よろしくお願いたします。  
今回の学力向上の推進においてという点で、家庭学習充実の取組  
とか朝読書実施状況などを見ましても、先生方も今まで以上に一生  
懸命やっけていただいていると思ひました。  
また、教員の資質能力向上という点におきましても、指導主事の  
派遣を積極的行っていただき、それが定着しつつあると書いてい  
ますがそれがとても素晴らしいことだと思ひます。  
先日、ある小学校の授業改善の充実を図る実践的な研修会に参加  
させていただいて、小学校 6 年生の国語の授業を見せていただき  
ました。とてもよい授業で、私は教員ではないのですが、すごくいい  
刺激を受けて、先生や生徒さんから凄いやる気とパワーをいただ  
いて帰ってきたのを覚えております。熊野市におきましても、研究指  
定校を位置づけ、市全体の研究授業の推進を図っているとありますが、  
この取組をもっともっと広げていただければ、先生方の授業へ  
の取組や見直しには大変プラスになると思ひます。この研究授業は、  
する側にも見る側にも凄くプラスになると思ひます。  
この取組を今後とも続けていただければいいと思ひました。
- 山本学校教育課長    ありがとうございます。大綱にも強調して書かせていただきました  
が、「確かな学力の向上をより一層」ということを強調して学校教育  
でも取り組んでいます。  
その中で、糸川委員が言われた学力の向上という部分は大きなウ  
ェイトを占めているところでございます。  
この大綱に沿って、徐々に研修の場の整備、教職員の意識の向上、  
及びそれに伴う授業改善、子ども達の学力向上ということで、大綱  
に書かれた項目を着実に遂行することによって、現在その方向に進  
んでいるということでご報告させていただきます。
- 林総務課長            その他に、この学校教育の中でご意見等ございましたらよろしく  
お願いたします。
- 河上市長            今の中で、研究指定校を拡大するということで何か課題がある  
のですか。
- 山本学校教育課長    今年度につきましては資料にありますように、小学校 2 校、中学  
校 1 校です。来年度につきましては、小学校の方に課題があるとい  
うことで、小学校を 4 校に拡大する方向で今検討、調整を行って

ます。

倉本教育長

教育委員会のホームページにも掲載しておりますが、学力学習状況調査の状況が、小学校は特に全国平均に比べて課題があります。中学校の方は、全国平均とそんなに差はないのですが、小学校へテコ入れということで、指導主事の訪問回数を昨年度の倍以上に増やしている状況です。校長会においても、具体的なお願いであったり、指示であったりを繰り返している最中です。

少しでも数字をあげるために必死になっている状況です。教育委員会としましては、各学校に3本の柱で取り組んでもらうことを決めております。まず1本目は子ども達の安全、2本目が学力向上、3本目が学校を開くこと、この3つを中心に焦点化して各学校が取り組んでいるところです。

林総務課長  
大久保委員

その他に、この学校教育について何かございませんか。

学力向上については、いろいろとがんばっていただいているというところで、来年度大いに期待をしているところです。

(4)の健やかな体の育成というところで、この前の体力テストで、熊野市は全国平均と比べて上回っていましたので、よかったなと思っておりますが、ますます伸ばしていただくようにお願いします。

特別支援教育の充実ですが、就学指導委員会へかかった子ども、支援学級で学んでいる子どもはいいですが、実際、就学指導委員会へかからないような子どもで、発達障害であるとか、学習障害など一見わからない中で、配慮が必要な子が増えてきているような気がします。そういった子どもに対しても、学校でも勉強をしていただいて対応していけたらいいなと思います。

河上市長

発達障害の子どもさんに対しては、これまで市の行政は健康長寿課、福祉事務所、教育委員会と縦割りだったのですが、その3者が連携して幼いうちから学校に入ってから支援を継続して受けられるように、福祉事務所に支援室を設けております。

もう一つ、学校における子ども達の支援については、5ページの一番上にありますように、支援員を配置、子ども一人ひとり全員に配置はできませんが、おそらく熊野市としては、生徒一人当たりの支援員の数は多い方だと思います。今言いましたように必ずしも必要とされる子ども全員に配置することはできませんけど、発達障害というふうに限定はできませんけども、多少支援を必要とする子どもの学習、それから、その子どもがいることによって他の子どもに迷惑があまり及ばないように、一緒に学んでいけることができる体制を整えていますので、こういうことも一つひとつですが努力をしています。この辺は、委員が言われたように、障害とまでは言えない

のかかもしれませんが、若干支援の必要な子どもの割合が、この地域低くないと言われておりますので、今後もきちんとフォローしていかなければと思っています。

林総務課長 ありがとうございます。その他に、この学校教育について何かございませんか。

小山委員 フッ化物洗口の問題についてですが、すみやかに全校に広げてあげれば子ども達のためになると思いますが、来年度はどのような状況ですか。

林総務課長 4 ページの健やかな体の育成の3つ目のところですが、フッ化物洗口を実施し、う歯率の低下へ取組を進めているというところですが。

山本学校教育課長 今年度につきましては、井戸小学校、五郷小学校をモデル校としてフッ化物洗口を実施させていただきました。10月に検証会議を行い、五郷小学校の小規模校1年生から6年生まで特に問題なく実施できているとの報告がありました。ただ、井戸小学校につきましては、小学校1年生から3年生まで実施しておりますが、1つの学級に3人の先生が入って、安全体制を整えてやっています。昼休みにやっていますので、それ以外の児童が校庭等にいるがそこが手薄になってしまっている、その教室以外で指導できる体制が整っていないという課題が報告されております。

その検証会議を受けて、来年度に向けて拡大する方向は間違いありません。ただ、どの規模の学校をモデル校にするかは、今議論及び調整中でございます。何校かは拡大し、何年か後にはすべての学校で実施できよう方向で着実に進めていきたいと考えているところでございます。

林総務課長 フッ化物洗口については、来年度以降拡大の方向ということによりよろしいでしょうか。それ以外に何かございませんか。

河上市長 これも報告になりますが、先程、教育長が3つのポイントの中で安全ということを申されましたが、防災の対策として、すでに皆さんご存知と思いますが、熊野市の小中学校の校舎及び体育館は既に耐震化が終わっております。ただ、窓ガラスについては、フィルムを貼る取組を進めてきておりますが、来年度もその取組を少し前に進めさせていただいて、日常的に子ども達がいる時間の長い教室から外に出る通路については、これでほぼフィルム貼りが終わったことになると思います。ただ、全ての窓ガラスのフィルム貼りはまだ終わっておりません。少しずつ進めていきたいと思っております。

林総務課長 ありがとうございます。その他ございませんか。

全員 無し

林総務課長 それではまたあとで一括で受けさせていただきます。

続きまして、6 ページ

3 の青少年健全育成の主な取組内容、効果課題について説明。

ご意見等ございましたらよろしくお願ひしたいと思います。

大久保委員

青少年健全育成についてはいろいろな行事をしていただいて、参加者も結構いますが、参加する人が固定化しているというか、来てほしい人にはなかなか来てもらえないので、拡大していくのが課題かなといつも思っていますが。

河上市長

これは非常に大きな課題で、一般論として、行政が行う各種のいろいろなイベントや健康づくりや福祉の取組なども、大体来る人は固定されています。本当に来ていただきたいとか、支援の手を差し伸べなければいけない人が参加できるようにするというのは、ものすごく重要ですが、ものすごく難しいことです。これは地道に声掛けとか多くの皆さんの協力をより一層いただけるように、一步一步前に進めていくしかないのかなと思います。いわゆる逆転満塁ホームランのように、これをすれば改善するというのはなかなかはないので、大きな課題だと思います。

参考までに、健康づくりや福祉の取組に関心のある人は3割、実際に参加する人は1割、その3割がほとんど固定化されています。

林総務課長

3 番の青少年健全育成について、

6 ページから 9 ページ

4 の生涯学習、5 の生涯スポーツ、6 文化芸術の主な取組内容、効果課題について説明。

これらについて、ご意見等ございましたらよろしくお願ひしたいと思います。

河上市長

これも報告であります。第 2 回の総合教育会議で大久保委員から、図書館長が常駐でないので図書館長の配置を考えられないかという話がありましたが、来年度、図書館長を兼ねた文化交流センターに常駐する責任者を置かせていただくことになりますので、そういう意味では少しお応えさせていただくことになっておりますので、ご報告させていただきます。

糸川委員

図書館の話ですが、図書館ボランティアの読み聞かせで、ボランティアで読み聞かせをしていただいている方は何人ぐらいいらっしゃいますか。

橋詰社会教育課長

調べて後程ご報告します。

糸川委員

これはすごくいいことだと思います。私も交流センターに来させていただきませんが、なかなか図書館に入ることがなくて、一度入らせていただいた時に、すごく図書館の良さを実感したんですね。小さな時から読み聞かせとかで、交流センタープラスで図書館

まで足を運んでいただく機会をもっともっと作っていただけたらと。また、読み聞かせでボランティアで参加することによって、また口コミや声掛けでどんどん広がっていくような気がしますので、ボランティアに参加していただく方もたくさん募集して、この図書館をうまく利用していただければもっとよくなると思います。

橋詰社会教育課長

ボランティアの数は55名ですが、その中でいろんな役割を担っていただいております。読み聞かせの方は正確な数字は後で報告させていただきます。

倉本教育長

図書館は熊野市の方だけではなく、南牟婁郡の方の利用率も非常に高いように思います。ですから、この地域の文化の拠点、芸術の拠点という部分ではある一定の役割を果たしているのではないのかなと思います。

先程読書について糸川委員からお話がありましたが、本当に乳幼児から「おはなしなあに はいはい」や「おはなしなあに あんよ」などそういったようなことでボランティアの協力を得ながら、乳幼児期から親しませていることなどもありますので、これはうちの財産であるなと思います。

河上市長

図書館の利用者についてですが、この6ページの右側にもありますが、貸出冊数が毎年伸びております。図書の数が比較的ほかの地域より多いのではないかと思いますので、そういう意味でも利用される方は増えています。図書館の蔵書数は、ある意味熊野の文化のバロメーターみたいなところがあります。相当空いている棚が少なくなってきましたので、これまでのペースで買い続けるかどうかは別として、今後も図書の充実を図っていききたいと思います。

橋詰社会教育課長

すみません、図書館読み聞かせのボランティアの数は11名です。

大久保委員

図書については予算もたくさんつけていただいて、冊数もすごく充実してきたと思いますが、今度に入れてもらった本を、より多くの市民に、固定された人ではなくこれまで図書館に縁がなかった人にも足を運んでもらえるように、来年度から館長も置いていただけるということですので、図書館にもがんばっていただいて、幅広い方に図書館に来ていただけるような方策も考えていけたらいいかなと思います。

河上市長

図書館ボランティアの方々も、読み聞かせ以外のことについてもいろんな知識をお持ちでしょうから、そういう方々から十分にお話を聞かせていただいて、できることを、予算措置が伴うことはなかなか簡単にはできませんけれども、図書館の既存の予算の範囲の中でできることはどんどんやっていただければと。先程糸川委員が言われましたように、ボランティアの数そのものを増やしなが

くのみなさんにお越しいただくように努力をしてください。

橋詰社会教育課長

すみません、よろしいでしょうか。

図書館に入っただくと、正面のところにブラウジングコーナーというのがありまして、そこで、いろんな企画、紹介を常にしておりまして、新聞報道とかもお願いしまして、図書館にいろんな本があるんだということをわかっていただくための取組もあります。それが効果が出ているというのが、貸出冊数などで正確な数字が出ています。

ただ、これまで図書館に来られていない人たちをどうするかということは今後またいろいろと検討していきたいと思います。

林総務課長

今のことに関連してですが、少し前に「本の福袋」というイベントがありまして、図書館に行って自分が見たい本というのはある程度偏ってくるのですが、その「本の福袋」にはいろんな方の本が入っていて借りられると、どんな本が入っているかはわからないのですが、家に帰って開けてみるといろんな方の本が読めるという、図書館の魅力を知っていただく一つのいい企画だったのではないかと思います。

クマノミチでもいろんなイベントをやっていますが、そこに来た方の何人かでも図書館に寄っていただく、中に入ってもらう仕掛けづくりが必要ではないかと。

来年度は、館長も置かれますので、その辺で利用者の増も見込まれるのではないかと考えております。

その他ございませんか。

高見委員

図書館の利用ですが、私は紀和町なんですけど、どうしても距離的に難しい点があります。高齢者の方で本の好きな方でも交通手段がなくて来れないといった事情もあると思います。子ども達ももちろんそうなんですけど、もっと身近にあれば通うこともできると思いますが、そういった不便な点を何か対策を考えていただいて、紀和だけではなく、離れた地区の方に図書館の本を読んでいただいて、また図書館に足を運んでもらえるようになるという企画を考えていただきたいなと思います。

橋詰社会教育課長

紀和のコミュニティセンターにも図書室がございまして、約1万冊ほどあります。図書の貸出について、インターネットでも予約ができますし、出張所で、例えば上川地区の方でしたら上川出張所まで本を届けさせていただいて、上川出張所に返していただくというような取り組みを行っております。利用者がどれくらいいるかということまでは詳細に把握していませんが、例えばインターネットで予約させていただいて、住んでいる地区の出張所に本を送らせてい

ただいて、本を返していただくということは可能です。

河上市長

一応、遠隔地でも借りられる仕組みを整えていますが、そのことがあまり周知されておりませんし、インターネットで選ぶということもできる人できない人がいるので、例えば新刊の情報だけでも出張所でお知らせするとか、ここまで来て借りてくださいということではなく、情報提供をしっかりとこういう図書が借りられますよということのお知らせはしないといけないと思います。

一方で、紀和とか、五郷、飛鳥とか、海岸地区とか本来は図書の充実を図ればいいんでしょうけれども、当面はこの本館を中心に充実を図って、借りやすいような仕組みをさらに工夫していきたいと思っています。

林総務課長

ありがとうございます。

1の学校教育(幼稚園教育)から6の文化芸術まで、全体を通して何かご意見等がございましたらよろしくお願ひしたいと思っています。

林総務課長

なければ、また後ほどでも構いませんので気づいた点がございましたらよろしくお願ひいたします。

それでは4の(1)2つ目で、次年度以降の取組等について移らせていただきたいと思っています。

施策別取組状況についての取組内容を基にしてご意見等をいただいたところですが、今後の熊野市の教育の方向性という大きな視点で捉えていただいて、委員さんの思いや考えをいただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

糸川委員

今回のこのような総合教育会議において、教育の大綱が決まり、具体的に取組が行われ大変良いことだと思います。いろんな効果や課題が上がってきて、大変前向きで素晴らしいことだと思いますが、先程市長さんがおっしゃっていたように、みんなにやっていることが伝わってなかったり、いいことはどんどん発信していくという努力もしていただければ、ますますよくなっていくのではないかなと思います。

林総務課長

ありがとうございました。

糸川委員さんがおっしゃられるように、取組をいろんな形で周知していく、また来ていただいた方にお伝えいただくなど、また、次年度以降考えながら取り組んでいきたいと思っています。

その他に何かございませんか。

大久保委員

学校教育で学力の問題はすごく大事なものではありませんが、こういう問題は、すぐには効果の上がるものではないと思います。先生方の意識、子ども達の意識をどうあげていくかというのは大きな課題で、それを年々あげていき、逆戻りしない方法でこれからもやっ

てもらったらと思います。

林総務課長

ありがとうございました。

大久保委員さんがおっしゃるように学力については、地道に今までやってきていることで少しずつ上がってきている、それを発展させて伸びていけるような方向、あるいはそういった環境を作っていくことも一つですのでこれからも取り組んでいきたいと思います。

大久保委員

図書館の読み聞かせの件ですが、今いろんな呼びかけをたくさんしていただいてそれなりに多くいます。小学生に関しては、土曜日くらいしか来られない状況で、実際参加する人数は非常に少なく、せいぜい10人くらいです。そういう面で、学校に行ってクラスでやってもらうというのは大事だと思います。学校の先生も本くらいは読むのではないかというのはありますが、今の先生方は忙しくてそれどころじゃない状況です。絵本も読めばいいというわけではなく、本の良さを子ども達に伝えるためにはそれなりの練習というか、どういうふうにもその本を読んだら作者の意図が伝わるかという研究が大事だと思います。そういう面で、学校にも行ってもらうという事業を図書館でもやってもらいたい。昨年度はやっていて、今年度は希望の学校には行っていますが、図書館の事業ではなく、ボランティアの事業として行っています。図書館の事業としてやっていただく素晴らしいと思います。お金の面もありますが、この事業は図書館の事業であるとしてやってもらえるといいと思います。

橋詰社会教育課長

学校には、学校図書館があり、図書に触れるという意味では、各学校からの図書館の見学とかは実施しておりますし、大久保委員のいわれる学校に出向いてということについては、来年度は専任の館長もできますし、その分だけ司書もそういった活動の枠を広げることにはできるようになるのかなと思います。

山本学校教育課長

学校との図書館との図書のやり取りという点では、集団貸出制度というのがありまして、一度に50冊程度借りることができます。期間も1カ月程度あります。3ページにも記入させていただいておりますが、現在16校中11校が活用させていただいている状況です。

林総務課長

貴重な意見をたくさんいただきました。その他何かございませんか。

倉本教育長

学校についての役割の部分で、学力向上を含めた子ども達の豊かな学びについては、今まで取り組んできたわけですし、これからも進めていかなければなりません。もう一つですね、高齢化が進む地域コミュニティの中で、学校が果たす社会的責任という部分を考えていかなければならないし、今考えつつあるという状況です。例えば、避難所になったりした場合には、学校が避難所運営をリードし

ていかなければならないとか、地域コミュニティの中で、地域との連携、高齢者の方との交流といった部分では、五郷小学校などは収穫祭などを地域の方とやったり、すごく強いつながりを持っています。学校の為ならみんななんとかしよう、学校の為なら力合わせてやっていこうじゃないかという雰囲気生まれております。

私が8年前に尾呂志学園というところで校長をしておりまして、コミュニティ・スクールを文科省の指定を受けて取り組んだのですが、地域に応じた学校のスタイル、これについては、これから検討をしていかなければならないと思います。

すでに、一昨年、コミュニティ・スクールについての教育委員の学習会をさせていただきましたが、常に、今あることを来年やっていくのではなく、実態に応じた形で進めていかなければならないというのが私の思いです。

林総務課長

ありがとうございました。

委員さん方々からたくさんのご意見、考え方、方向性をいただきました。

今後、さらに効果が出るような方向で取り組んで、課題等があるものについては課題等を克服しながら取り組んでいきたいと思っております。

それでは、この項を終わらせていただきまして、次の5の次年度の総合教育会議についての項に移らせていただきたいと思っております。

次年度は、平成27年度の実績と検証ということで、平成28年度にどのように生かしていくかということになると思っておりますので、4月か5月に開催を考えております。その後の開催につきましては、現時点では考えてはおりませんが、市長の方で開催についてお考えがありますでしょうか。

河上市長

次年度に皆さんの意見を予算面も含めて反映させていただこうとなると、予算編成の手続きからすると10月、11月くらいに今回のこのような意見をいただくと反映はしやすいかなというふうに思います。正直、この時期になると、予算の編成が終わっていますので、予算面での対応は難しいと思っておりますので、そういうことも含めて、来年度の総合教育会議の開催の時期は調整をしていただきたいと思っております。

林総務課長

ありがとうございました。

28年度早々に開いて、それ以降中間的な時期で10月か11月に開かせていただきたいと思っております。

6のその他ですが、事務局からはございませんので各委員さんからは何かございませんか。

全員

無し

林総務課長

それでは、第 3 回の熊野市総合教育会議ということで、教育大綱に基づいた施策別取組状況について、委員の皆さまからはいろいろなご意見、ご提言をいただきました。来年度以降は、いただいた意見を前に進めるべきがんばっていきたいと思いますので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

本日の事項についてすべて終了となりましたので、平成 27 年度第 3 回熊野市総合教育会議を閉会致します。本日はありがとうございました。